

家畜衛生だより

令和元年 6月発行

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地

Tel 023-686-4410/Fax 023-686-5715

岐阜県で豚コレラの疑似患畜を確認！(国内25例目)

6月5日（水）、野生イノシシ陽性確認地点から10km以内にあり、監視対象となっていた岐阜県山県市の農家で豚コレラが発生しました。

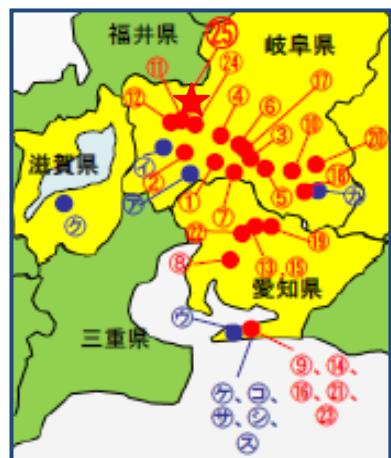
飼養者の皆様には、消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止対策、飼養豚の毎日の健康観察による異常豚の早期発見・早期通報、肉及び肉製品を含む可能性のある食品残渣の適正使用や野生動物との接触防止等の再徹底をお願いします。

1. 農場の概要

所在地：岐阜県山県市 飼養状況： 8,122頭

2. 経緯

- (1) 6月4日（火）、農場から異常を呈した豚がいるとの連絡を受け、家畜防疫員が立入検査を実施。
- (2) 同日、家畜保健衛生所での検査で豚コレラの疑いが生じ、精密検査を実施したところ、6月5日（水）に疑似患畜と確認。



改めてご確認ください！



★豚コレラウイルスが侵入し、症状が明確になるまでに時間がかかる場合があります。日頃から豚の様子をしっかり観察して下さい。

★豚コレラの特定症状（裏面参照）を発見した場合は、早期に通報して下さい。

★分娩舎は出入り頻度が高いため、ウイルス侵入のリスクが高くなります。分娩舎に入る際は専用長靴に履き替え、掃除・消毒・手洗い等を徹底して下さい。

★ウイルスを持ち込む可能性のあるネズミの駆除に努めて下さい。

★野生動物の侵入防止対策に努めるとともに、野生動物等を介したウイルス侵入を防止するため、農場周囲への消石灰の散布を実施して下さい。

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場
への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする
際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む
可能性がある場合は、
十分に加熱処理

豚コレラ

2018年9月、11月、12月、2019年1月
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に繼ぐ下痢、呼吸障害等

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

重症例は後転麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

(出典) 農林水産省HP

訪日外国人旅行客の増加により、アフリカ豚コレラや口蹄疫等の病原体侵入のリスクが高まります。外国人旅行者をはじめとする部外者が衛生管理区域に立ち入らないようお願いします。

豚飼養者の皆様におかれましては、

飼養衛生管理の徹底や早期摘発のための監視の強化に
引き続き万全を期していただくようお願いいたします。

万一、豚コレラを疑うような症状を見つけた時は、
中央家畜保健衛生所までご連絡ください！

中央家畜保健衛生所 023-686-4410 (休日・夜間共通)